



石小だより

～すてきな大人に育つ～

宇部市立黒石小学校
コミュニティ・スクール
校報第5号
9月号
令和5年9月29日

健康的な生活で土台づくりを！

少しずつ暑さも和らいできました。9月は学校保健委員会で「ネット・ゲームとのかかわり方」についてと、山口県教育委員会の出前授業による「規則正しい生活」について学習しました。健康教育を充実させています。

「約60%」。これは本校5・6年生のおよそのスマホの保有率です。「約90%」。これは本校5・6年生の

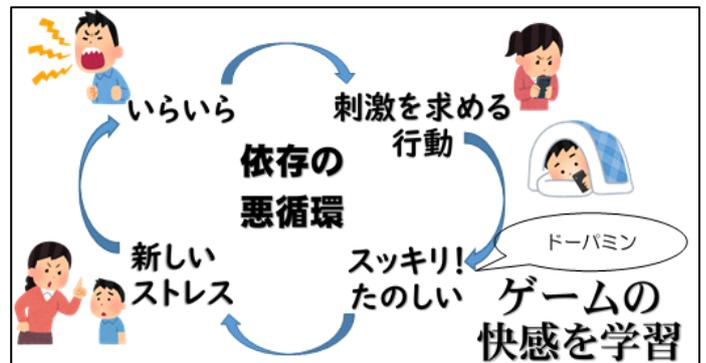
ゲームの保有率です。「約4500円」。これは本校5・6年生のスマホやゲームへの課金金額の平均です。スマホやゲームに夢中になっている様子が伺える数字です。

「ゲームに夢中になるとなかなかやめられなくなる。」「朝起きられなくなる。」「授業中眠たくなる。」「頭が痛いことがある。」このような困った状況があると、黄色信号で、放っておくと「依存症」になり、脳や体、視力、心等に様々な影響がでる可能性があるそうです。

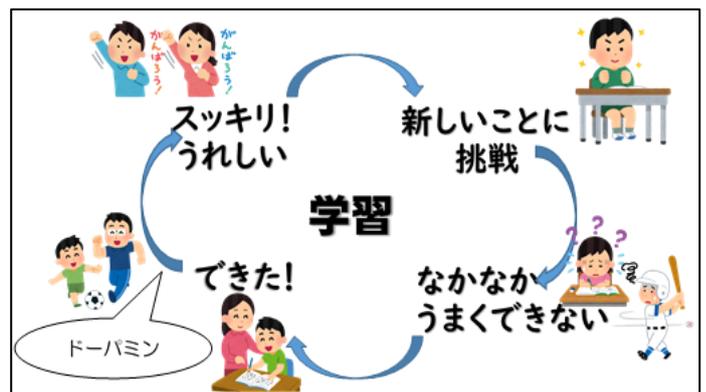
日々のお子さんの様子を見られていかがでしょうか？ご家庭でのゲームやスマホへのかかわり方に問題があり、生活時間を見直したいとお考えであれば、「ゲーム依存症のこわさ」について子どもたちの記憶が新しい、今がチャンスです。自分の生活時間、ゲームやスマホにかかわる時間を是非一緒に見直されるとよいと思います。

子ども期は、自分の一生の基盤となる学力や体力を高めるとともに、物事への取り組み方や、人との関わり方を学ぶ極めて重要な時期です。有名なスマホメーカーの代表の方は、ご自分のお子さんには、スマホを与えていなかったというのは有名な話です。幸福感をもたらす「ドーパミン」を体内で分泌させるスマホの魅力から子どもだけで抜け出すのは難しいことです。さらに、子どもにふさわしいコンテンツのみにふれさせるのも難しいことです。

子どもたちをスマホ依存から遠ざけていくためには、小さいことから大きいことまで様々な「できた！」と感じる成功体験が必要だそうです。このようなすっきりして嬉しい感情をもつ機会を生活の中により多くつくる必要があります。子どもたちが新しい学習に取り組むとき、なかなかうまくできないものです。しかし、それを乗り越え、そのとき、やる気や幸福感をもたらす「ドーパミン」が出てきます。つまり、子どもが挑戦したくなることに合わせ、克服する喜びを感じるサイクルをつくっていくことが大切です。例えば洋服をきちんとたたむとか、食事で使ったお皿を下げるとか、ほんの少しのことでも大切だと思います。また、なかなかうまくできないときの個別の支援は、学校と家庭とで連携して行っていくことが大切です。このようなサイクルづくりに学校、家庭、地域とで取り組みながら、健康的な生活づくりをしていけたらと考えています。



「依存症」ってどんな病気？



生活の中の望ましい「学習サイクル」の一例

全国学力・学習状況調査の結果から

先日、4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。本校の6年生について全国平均と比べてよかった点や改善すべき点が明らかになりました。

よかった点は、これまで全国的に難しかった、算数の図形の問題や二次元の表を活用して答える問題でした。改善すべき点は、問題の終わりに近づくほど、解答が書けない児童が多い状況です。今後は、ねばり強さや、書く速さ等の、問題に向き合う基本的な構えや力を鍛えていくことが必要だと考えています。また、問題を読み、尋ねられている内容を理解して、問題に答えるという目的のために、複数の資料から答えを見つけしていく力もつけていく必要があることが分かりました。一つの資料からは答えを見つけれられているので、惜しいところまではたどり着けています。資料を関連付けることで分かる事実を知ること、自分の生活を豊かにしていける力をはぐくんでいくことが必要です。

これらの成果や課題をもとに、日々の授業を改善しながら、子どもたちの学力向上に努めていきたいと考えています。

3K プロジェクト（黒石・校則・改革）

ホームページ等でもご存知の方も多いと思いますが、3K プロジェクトが進んでいます。先日はPTAの方や黒石中学校の先生からご意見をいただきました。また保護者の皆様をはじめ、黒石小学校関係者の皆様には、アンケートにもご協力いただきました。本当にありがとうございます。

小学生の子どもたちが考えることです。これから試行錯誤することがたくさんあると思いますが、大人と一緒に考えることや自分たちの学校は自分たちでよりよくすることができる経験をする中で、子どもたちの主体性が育まれると考えています。

どうぞこれからも温かく子どもたちを支えていただきますよう、お願い申し上げます。



大変遅くなりましたが、9月2日の運動場の環境整備には、保護者の方、お子さん、地域の約100名近い多くの方にご協力いただきました。ありがとうございました。当日飛び込みでご参加くださった方もいらっしゃいました。子どもたちを大切に思ってくださいの黒石地区の皆様のやさしさを感じました。

皆様のおかげでよりよくなった環境の中で、子どもたちはいっぱい学んだり遊んだりしています。

山口県では、家庭の元気応援キャンペーンを展開しています。
10月は「やまぐち家庭教育支援強化月間」です！

- ◆ 基本的な生活習慣を身に付けましょう。
- ◆ 家族がふれあう機会をもちましょう。
- ◆ 手伝いを積極的にしましょう。
- ◆ 父親等の家庭教育への参加を進めましょう。

スローガン



「家庭の元気応援キャンペーン」

マスコットキャラクター



「早寝早起き朝ごはん 本を読んで外遊び みんな仲良く今日も元気」

問い合わせ 山口県教育庁地域連携教育推進課 TEL083-933-4662

10月の予定

11日(水)～13日(金) 音楽鑑賞会 歌声発表会
28日(土) 土曜参観日 石小まつり

